

## 令和4年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業NO.1]

## 小規模企業景気動向調査 第4四半期 (R5年1~3月)

## ①業種及び地域別景気動向

業種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品等	機械金属		耐久消費その他	食料品	外食	旅館	理美容その他	運輸
町内	売上額	↗☀	↗☘	↘☂	→☘	↗☀	↘☂	→☂	↗☘	→☂
	仕入単価	→☂	→☂	→☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	↘☂	→☂
	採算	↗☘	↗☘	↗☂	↗☂	↗☘	↗☀	→☂	↗☘	→☂
	資金繰り	↗☘	→☘	→☂	↘☂	→☘	→☘	↗☘	↘☂	→☂
	業界の業況	↗☀	↗☘	→☂	↗☂	↗☀	↘☂	↗☀	↗☀	→☂
北信		↘悪化		↘悪化	↘不変		→改善	↘悪化		↗改善
県内		持ち直しの動きに弱さがみられる								
全国※		↗-26.1		↘-18.0	↗-32.9		↗-17.3	↗-31.5	↗-11.9	

(※ 景況DI値で表示、+値が大きいほど好調)

## ② 景気動向報道及び特記事項

## 《町内》

職人の高齢化により人員不足が顕著になってきている(総合建設業)

食料品の高騰が相次ぎメニューの価格改定が必要であるが実施に踏み込めない(飲食店)

コロナ禍明けの復活消費を期待したいが物価高騰が消費意欲を下げている(小売店)

新車の生産が徐々に回復しているが、仕入れ価格が上がった(自動車小売)

## 《北信》

受注は回復し追加注文が増加しているが、部品調達に遅れが生じている(投影機製造)

住宅は建てたいが、物価高で足踏み状況がみられる(総合建設業)

食品全般が値上げで、果物は嗜好品のため厳しい(青果卸)

昨年に比べ新型コロナが多少落ち着いてきたので来店客も増えている(飲食店)

## 《県内》

新型コロナ感染拡大や物価上昇による個人消費への影響を注視する必要がある

## 《全国》

産業全体：人流増加により需要が活発化するも、コスト高騰で持ち直しの動きが鈍い

製造業：2期連続で全DIが改善するも、コスト高騰により度重なる価格転嫁を迫られる

建設業：人手不足による工期延期とコスト高から、資金繰りが悪化する建設業

小売業：物価高から消費者の購買意欲が高まりきらず、他業種との差が開き始めた

サービス業：コロナウイルス感染症の落ち着きから人流が増加し、活気を取り戻しつつある

## 参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」

日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」